

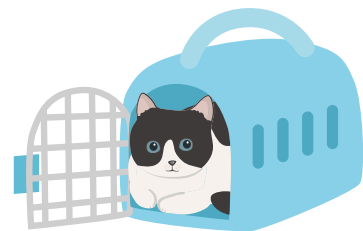
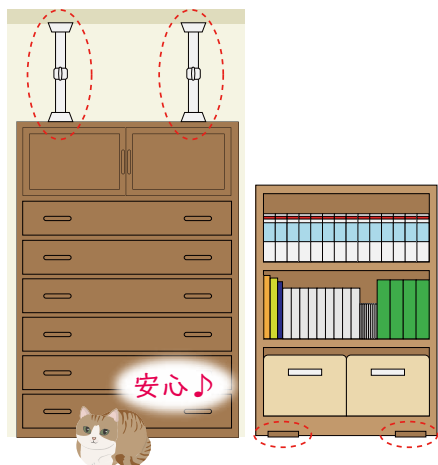
# 備えよう！ペット防災



災害は、ある日突然起こります。  
災害発生時には、まず自分の身の安全を確保しましょう。  
飼い主が無事でないと、ペットを守れません。  
飼い主とペットがともに災害を乗り越えることができるよう、  
日ごろから備えましょう。

## 住まいや飼養場所の防災対策

- 家具やケージの固定、転倒防止、落下防止
- 屋外飼養の場合は、飼養場所の安全確認（外塀やガラス窓の近くを避ける）
- ケージなどペットの避難場所（隠れ場所）の確保



## 災害が発生したら

### 同行避難か？

### 在宅避難か？

#### 同行避難とは

同行避難とは、ペットと一緒に安全な場所へ避難することです。避難所で人とペットが同一の空間で避難生活を送ることはありません。原則、ペットの居住スペースは屋外となります。避難所では、動物アレルギー等に配慮し、人とペットの居住スペースを分けることとなります。それぞれの避難所のルールに従ってください。

※犬、猫、小鳥などの一般的なペット以外の動物は、避難所での受け入れが難しい場合があります。また、状況やペットの種類によっては同行避難自体が難しいこともありますので、万一の預かり先を確保しておくことも大切です。

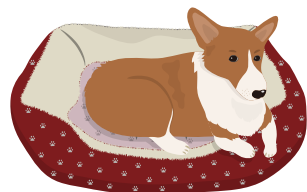
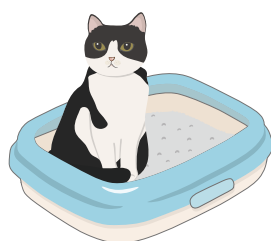
※自宅が安全で、定期的にペットの世話をするために戻れるのなら、避難所に連れて行かないという選択もあります。（飼い主は避難所避難、ペットは在宅避難）

特集 ペットと一緒に幸せな生活

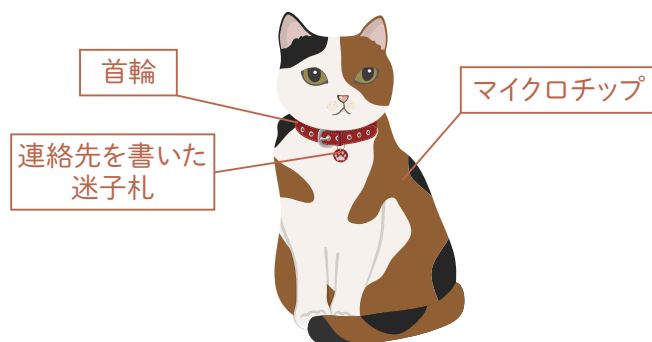
# 避難所でのトラブルを回避するために、 日ごろから備えておきましょう

## ペットのしつけと 健康管理等

- 「待て」「おいで」などの基本的なしつけをする
- ケージなどの中に入ることを嫌がらないように、日ごろから慣らしておく
- 人や他の動物を怖がらないように日ごろから慣らしておく
- 決められた場所で排泄ができるようにする
- 狂犬病予防接種（犬の場合）や各種ワクチンを接種する
- シャンプーやトリミングにより身体を清潔に保つ
- 不妊去勢措置を行う



## ペットが行方不明に ならないための対策



猫の場合、連絡先を描いた迷子札を装着した首輪をつけ、マイクロチップを装着します。

犬の場合は、上記に加え、鑑札と狂犬病予防注射済票を装着します。

☆迷子のペットが保護されたとき、マイクロチップが入っていれば、自治体や警察・動物病院がチップを読み取り、ペットの飼い主に連絡します。

## ペット用品の備蓄を準備しよう

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> ペットフード、水（5日分以上）   | <input type="checkbox"/> ウェットタオル、清浄綿、ビニール袋                    |
| <input type="checkbox"/> 療法食               | <input type="checkbox"/> お気に入りのおもちゃなど匂いがついた用品                 |
| <input type="checkbox"/> 薬                 | <input type="checkbox"/> ガムテープ、マジック（ケージの補修、動物情報の掲示など多用途に使用可能） |
| <input type="checkbox"/> ペット用の食器           | <input type="checkbox"/> ペットと一緒に写っている写真                       |
| <input type="checkbox"/> キャリーバッグやケージ       | <input type="checkbox"/> 洗濯ネット（猫の場合は屋外診察・保護の際に有用）             |
| <input type="checkbox"/> 予備の首輪、リード（伸びないもの） | <input type="checkbox"/> ワクチン接種記録や持病の情報を記したものを                |
| <input type="checkbox"/> ペットシーツ            |   |
| <input type="checkbox"/> 排泄物の処理用具          |   |
| <input type="checkbox"/> トイレ用品             |   |
| <input type="checkbox"/> タオル、ブラシ、毛布        |   |

※避難所には、ペットフードやキャリーバッグ等の備品の用意はありません。

飼い主の役割とは、ペットを飼うという権利とともに果たさねばならない義務を常に意識し、災害に対する「十分な備え」を行い、常に飼い主の責任を果たす「心構え」を持つことです。